

2026 年度 夏休み宅配食料支援 実施報告書

— 目 次 —

1. ご支援いただいた皆様へ	----- 1
2. 夏休み食料支援について	----- 2
3. 支援実施の背景（調査結果）	----- 16
4. おわりに ～今後に向けて～	----- 22

1. ご支援いただいた皆様へ

＜夏休み宅配食料支援＞お腹を空かせる困窮家庭の子どもたちに食料を届けたい



2026 年 6 月 15 日から 7 月 31 日にて実施した「夏休み宅配食料支援クラウドファンディング」では、最終的に「支援総額 18,037,000 円／総支援者数 996 人」として、当初目標を大きく上回るご寄付を募ることができました。皆様からの多大なるご支援、本当にありがとうございました。

「誰も助けてくれる人なんていないと思っていました。初めてこういった食料支援を受けさせて頂き、自然と涙が溢れました。この世の中でこんな素敵な活動をされている企業や人がいるのだと初めて知りました。この夏を乗り越えるためという目的でしたが、この世の中も頑張っていると思いまして」

「今回のご支援で食費をやりくりすることができ、受験生の息子が前々からお願いしていた魚を買うこともできました。久しぶりの夜ご飯の焼き魚に、息子たちは大喜びでした。特に受験生の息子は、念願の焼き魚を食べて一段と張り切って、受験勉強に励んでおります」

「子どもが帰ってきたら開けさせようと思っていました。帰宅して大きな段ボールに驚き、『こんなに沢山いいの?!』とすごく嬉しそうな顔をしながら 1 個 1 個箱から出す笑顔を見ることができて私もとても幸せでした。色々辛い事がありますが、1 人じゃない、皆さんいて下さると思うと、また頑張れます」

たくさんのご家庭から、このような感謝の声が届いています。

困窮家庭の子どもたちへの食料支援は、単にこの夏のお腹を満たすことに留まりません。

ご家庭の経済的な苦しさはこの後もしばらく続いていきますが、届いている言葉の通り、今回の支援が夏休み以降のご家庭と子どもたちの将来へと確かに繋がっていきます。

改めまして、この度のご支援に深く感謝を申し上げます。

今回のご寄付を充てさせていただきました事業について、以下の通りにご報告をいたします。

認定 NPO 法人キッズドア事務局

2. 夏休み食料支援について

物価高騰により子育て家庭の家計が苦しい中、給食が無くなりさらに困窮度の高まる夏休みに合わせて、宅配による食料支援を実施。想定の 3,500 世帯以上の子どもたちへ食料品を届けることができました。



Copyright©2026 NPO Kidsdoor

対象

キッズドア・ファミリーサポートにご登録いただいております、食料支援の応募をいただいた世帯を対象に支援を実施。

支援世帯数



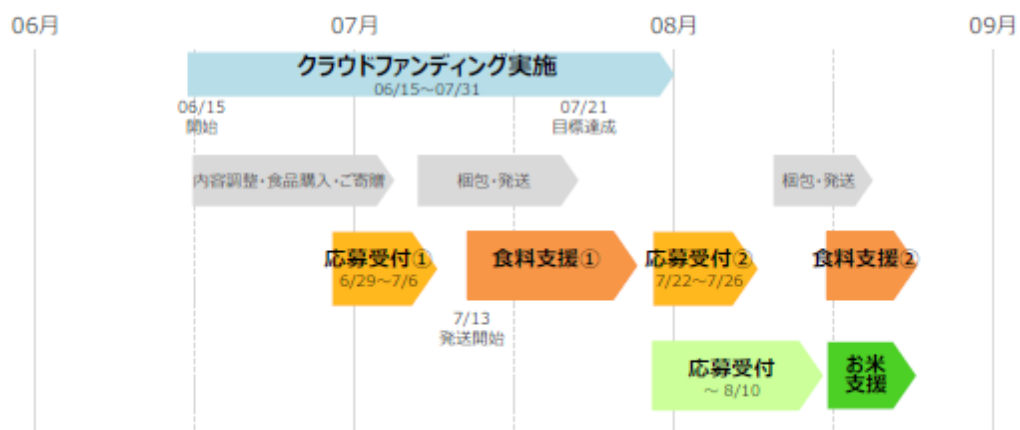
1



Copyright©2026 NPO Kidsdoor

スケジュール・経過

3500世帯への支援は、夏休みの早い段階の発送を目指した早期の募集による第1弾と追加募集による第2弾に分けて実施。その後、お米の寄付をいただけることになり、追加支援を実施。8月中に全世帯への発送を完了。



支援内容 | 3,500世帯向け

クラウドファンディングにより支援いただき、1世帯あたり
約8,000円で購入食品とご寄贈品を送付。

支援概要

約 **8,000** [円/世帯] × **3,500** [世帯]

[内訳]

- ・ 食品購入 約 6,000 円
 - ・ 梱包料 660 円
 - ・ 送料※ 約 1,400 円
- ※ 地域により異なるため平均

送付内容

- ・ 米(5kg)
- ・ レトルトカレー
- ・ スパゲティ乾麺
- ・ パスタソース
- ・ 合わせ調味料
- ・ お菓子 など

そのほかにご寄付いただいた食品や日用品
等を加え、20点以上を送付



▲送付内容一例

(一部のご寄付いただいた物資はご家庭により異なる)

3

支援内容 | 追加支援

企業様よりご寄付いただき、申し込みに関わなかったご家庭にもお米の支援を
することができました。

お米の支援

対象： **162** 世帯
内容： 米(5kg)



4

資金面でご支援いただいた企業様・団体様（一部掲載）

- ・ 一般財団法人日本アムウェイ財団様
- ・ 三菱UFJアセットマネジメント株式会社様
- ・ 株式会社KUSロジスティクス様
- ・ 株式会社内田洋行様
- ・ 大豊建設株式会社様 等

5

物品をご提供いただいた企業様・団体様

- ・ 日本アムウェイ合同会社様
 - － ファイトパウダー(粉末清涼飲料)
- ・ オルビス株式会社様
 - － 日焼け止め



6

物品をご提供いただいた企業様・団体様

• WeSupport Family様

- ー ビーフシチュー
- ー お菓子(チョコレート)
- ー お菓子(キャンディ)



• アリナミン製薬株式会社様

- ー ゼリー状飲料
(※流動性のある粘稠なゲル状の液の製剤)



7

物品をご提供いただいた企業様・団体様

• 国分グループ本社様

- ー インスタントラーメン
- ー レトルトリゾット



• 日本ケロッグ合同会社様

- ー シリアル



8

物品をご提供いただいた企業様・団体様

・ アサヒグループ食品株式会社様

- 幼児用おやつ
- フリーズドライのインスタントカレー
- ピューレ状ベビーフード



・ 株式会社大阪前田製菓様

- お菓子(ボーロ)



その他、多くのご寄贈品をいただきました。

9

送付内容(例)



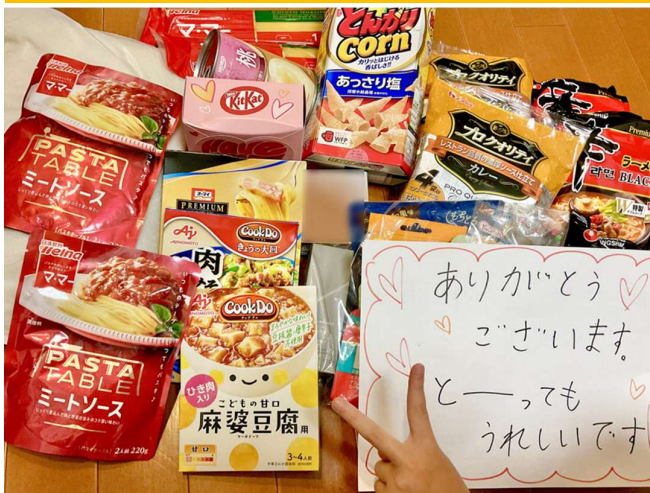
※ ご寄贈品は梱包時期・ご家庭ごとに内容が異なります。以降同様。

送付内容(例)



※ ご寄贈品は梱包時期・ご家庭ごとに内容が異なります。以降同様。

11



食料支援を送って下さり、誠に
ありがとうございます。

物価高とう、値上げはあるものの
それに伴う児童扶養手当の減額
により お金は貯まりません。

このようなご支援が助かりますし、
皆様のお気持ちも頂いており
ます。

嬉しい気持ちになることもあります
が、1人じゃないと思うことが
でき励みになっています。

ありがとうございます!!

沢山の段ボール一杯の品物 感謝です!!

心温まる品物の数々ありがとうございます
おびての商品が値上げされ、買うのを
ためらう日々です。

パスタも長い間、買う事が出来ず、
パスタソースも1年近く購入していません。
子供の食事に出せる事 嬉しく思います。

18才以上になっている為、国や府県からの
支援がなくなり、厳しくなっています。

自分自身の体調、子供の障害、親の介護、おびてき
た、1人抱える日々、仕事もフルタイム行けません。
将来の不安があります。悩み続ける日々
物資支援どうなかって下さる事が、毎心で大変
嬉しく思っています。今後継続的な支援を
下さるようお願いいたします。本当にありがとうございます。



このたびは温かいご支援をありがとうございました。
食料支援が届いたのは、
地震の5日後というタイミングでした。
熊本市内の自宅は大きな被害はありません
でしたが、4才の子と2人 シングルマザーと
不安と恐怖でいろいろな日々をすごしています。
震度の援手を感じたこともあり子供も毎日不安
そうにしています。

スーパーではレトルト食品など品切れで困っ
ていた中、今必要としているものが決まった
箱が届き、開けた瞬間涙がでました。
"まだ下の子方がいるんだ..."という安心感で
届けていただきました。

皆さまの温かいご支援に心より感謝申し
上げます..☆



スタッフの皆様、
支援していただいた皆様、
たくさんの食料をありがとう
ございました。♡

ひとり親のこと、もっともっと
知ってほしい現状が山ほど
あります。毎日生きていくのが
精一杯で、何の余裕もありません
そんな中、わらにもあがる思いで
応募させていただき、届けてもらう
ことが出来、本当に飛び上がる程
嬉しかったです。もう少し頑張ろうかな...
と思わせてもらいました。感謝です。





ご家庭から寄せられたメッセージ

栄養・量のある食事がとれた

- ・ レトルト食品は子どもだけで過ごす夏休みには特に重宝します。本当にありがたいです。**昨今これだけいろいろ値上がりすると、一食いくらに抑えるか計算し、挙句には栄養後回しの食事になってしまいます。(略)そんな中、食料支援を頂けることには感謝がありません。**
- ・ たくさんの品を届けてくれてありがとうございました。**これから夏休み！というときに丁度届いてとっても助かります！娘とふたりでしっかり栄養とって、この夏乗りきれそうです！**
- ・ この度は、たくさんのご支援を頂きありがとうございます。どれも子供たちの大好きな物ばかりで、早速お腹いっぱい食べました。**こんなに家族で美味しく楽しく頂いたのはいつぶりだろう…と考えながらみんなで笑顔になりました。** 本当にありがとうございました。
- ・ **今回のご支援で食費をやりくりすることができ、受験生の息子が前々からお願いしていた魚を買うこともできました。久しぶりの夜ご飯の焼き魚に、息子たちは大喜びでした。** 特に受験生の息子は、念願の焼き魚を食べて一段と張り切って、受験勉強に励んでおります。

ご家庭から寄せられたメッセージ

親が仕事に注力できた

- 子どもでも簡単に作れるレトルト商品は夏休み中の子どもの昼ごはんに本当に助かります。
子どもが簡単に作れると仕事前に作っておく手間も省けて働く母にとっては救世主のような物です。朝の時間に少しでもゆとりを持てるだけで1日がとても豊かになる気がします。皆様のおかげで仕事を続ける活力をいただいていると言っても過言ではないと思っています。
- 届いたお品を拝見し、家族でそのお心遣いに深く感激いたしました。特に、中学生と高校生の子どもたちが自分で調理できる食材を入れていただいたことは、親として大変心強く、感謝の気持ちでいっぱいです。(略) 皆様の温かなご支援のおかげで、不安を感じていた夏休みを安心して迎えることができました。
- いつもありがとうございます。夏休み、支援があるおかげで子どもを残して安心して仕事にむかえます。

19

ご家庭から寄せられたメッセージ

子どもの笑顔を見て元気がもらえた

- 沢山の食べ物ありがとうございました。子供が帰ってきたら開けさせようと開かないで待っていました。帰宅してから大きな段ボールに驚き、開いた時の『こんなに沢山いいの?!』とすごく嬉しそう顔をしながら1個1個箱から出す笑顔を見ることができて私もとても幸せでした。(略)色々辛い事がありますが、1人じゃないみなさんいて下さると思うとまた、頑張れます。
- この度は食料ご支援いただきありがとうございます！お米やパスタの主食は大変助かります。お菓子や缶詰フルーツは娘がとても喜んでいました。チョコレートはすぐ奪われましたが1つだけもらいました笑あとはいつももらってばかりだからとお友達と食べるとの事でした。
- 娘と一緒に段ボールを開けた時に娘が〇〇ちゃんのお菓子だ！やったあ！と嬉しそうにお菓子や抱き抱えていました。その笑顔を見て私自身もとても嬉しかったです。
- 皆様のお陰で夏休みの不安を無くすことが出来ました。娘も、えー良かった！嬉しい！と喜んでいきます。受験シーズンでピリピリしていましたが少し会話が弾むようになりました！ 20

ご家庭から寄せられたメッセージ

孤独が薄らぎ、励みになった

- ・ 我が家は養育費の支給がなく、私一人の手で3人の男の子を育てています。(略)今回の支援のおかげで、今月は家計に大きなゆとりが生まれ、精神的にも救われる思いです。ひとり親での育児は時に孤独を感じることもありますが、こうして社会の温かいお手伝いの手が届くことで、「一人で戦っているのではないんだ」と前を向く勇気をいただきました。貴社からいただいた優しさを忘れることなく、これからも子どもたちの成長をしっかりと支えてまいります。企業の皆様の温かいお心遣いに、家族一同、重ねて深く感謝申し上げます。
- ・ 箱いっぱいに入った食品に加え、お米までご支援いただき、本当にありがたく感じています。毎日の食事に欠かせないお米や、子どもたちが喜ぶお菓子など、バラエティ豊かな食品をたくさん届けていただき、家族みんなで「すごいね！」と驚きながら箱を開けました。日々の食事を支えていただけることはもちろんですが、私たちのことを気にかけて、応援してくださる方がいることが何より大きな励みになります。 温かいご支援を、本当にありがとうございました。

21

ご家庭から寄せられたメッセージ

孤独が薄らぎ、励みになった

- ・ 沢山の食品に子どもたちも大変喜んでおりました。(略) 普段高いので買わない商品があり、子どもたちはこれもあれも食べてみたいと喜んでおりました。私たちの住む街では、こうした支援がないので、キッズドアに登録させていただき本当に良かったと感じております。
- ・ すぐに食べられるものも多く、仕事があるのでとても助かっています。夏休みなど長いお休みのときは、仕事で子どもをどこにも連れていけず世間から取り残された気持ちになるところありますが、皆さまのあたたかいご支援をいただき、荷物が届くと、気に留めてくれている人がいること、とてもありがたく頑張ろうと思えます。心から感謝申し上げます。
- ・ パスタやレトルトカレーなど、簡単調理で済むものなど、美味しそうな物をたくさんありがとうございました。お米もお菓子も子供達とても喜んでおります。何を買うにも高いので、本当に助かります。夏休み、長いですが何とかみんなで乗り切れる様頑張りたいと思います。こうして、どこかで助けてくれる存在がある事、独りではない事、とても励みになります。

22

ご家庭から寄せられたメッセージ

保護者の気持ちに余裕ができた

- 私は、21歳の時から双子をシングルマザーで育ててきて、今年で6年目になります。今だに手がかかり、お金もかかり、シングルマザーの貧困家庭として孤独をずっと感じてきました。役所に相談しても、所詮他人事のように扱われる。誰も助けてくれる人なんていないと思っていました。しかし、初めてこういった食料支援を受けさせて頂き、自然と涙が溢れました。この世の中でこんな素敵な活動をされている企業や人がいるのだと初めて知りました。物価上昇の中、この夏を乗り越えるためにという目的での食料支援でしたが、子どもを育てながら必死に働いても、なかなか金銭面が安定しない我が家にとっては本当に有り難く感じています。この夏もそうですが、この世の中も頑張って生きていこうと思いました。
- こんなに物価高で大変なのに国からの支援は薄くいつもキッズドアのサポートや支援者の方々に支えて頂きありがとうございますだけでは足りないぐらいです。(略)食べ物を買うことも苦しく働いても働いてもなかなか楽になりません。でもこのご支援のおかげでいつも何かに追われているような気持ちに少し余裕が出来た気がします。

23

ご家庭から寄せられたメッセージ

保護者の気持ちに余裕ができた

- 今回、こんなに沢山の食料品等、送っていただいております。働いても働いても生活は全然楽にならず、時間と収入だけが消費されて、精神面でも金銭面でも子供達に不憫な思いばかりさせてしまっていて、想像よりも沢山の物がダンボールに入っていて、嬉しくて涙が出ました。自分なりに頑張って休みなく働いてるつもりだけど、いつも子供に後ろめたさがあって、もうどうしていいか分からなくなる中、このような支援によって励まされます。本当に感謝でいっぱいです。
- 沢山の物資ありがとうございます。本当に本当に助かります。この長い夏休みを乗り越えるためにどうやりくりするか頭を抱えていました。その考える行為が私は結構辛くて…。物資に当選し届いた時子供達と一緒に開けてこんなもある！これも！と楽しみながら食べる事の喜びを再確認しました。助けていただける場所があるという事実が私の救いになります。本当に本当にありがとうございます。

24

ご家庭から寄せられたメッセージ

災害後の支えになった

- ・ 今回の食料支援は、地震の5日後という、本当に大変な時期に届きました。(略) 地震の影響でどこのスーパーへ行ってもレトルト食品などが品切れになっており、必要なものを買うことも難しい状況でした。そんな中で届いた支援の箱を開けると、お米やレトルト食品、栄養ゼリーなど、「今まさに必要だったもの」がたくさん入っていて、思わず涙がこぼれました。単に食べ物を届けていただいたというだけではなく、「私たちのことを気にかけてくださる方がいる」と感じることができ、大きな安心と勇気をいただきました。
- ・ ご支援ありがとうございます。熊本地震被災直後に受け取ったのですぐに活用させていただきました。買い物に行こうにもお店の棚も空っぽなのでとても助かりました。
- ・ 夏の食糧支援ありがとうございます。今回は、ちょうど熊本地震直後に物資が届いて、申し込んでいることも忘れていたぐらい、どうしたらいいんだろうと頭を抱えていた所に、貴重な物資が届き本当にありがたく思ってます。

25

ご家庭から寄せられたメッセージ

いつか支援する側になりたい

- ・ 皆様から届けていただいた食品やお菓子は、私たち親子にとって生活を支える大きな助けであると同時に、「応援してくれる人がいる」という心の支えにもなりました。箱を開けるたびに、子どもたちは「これ食べたかった!」「おいしそう!」と目を輝かせ、笑顔があふれました。特にお菓子やチョコレートを見つけたときの嬉しそうな姿は忘れられません。娘は荷物を見ながら、「どうしてこんな良いことをしてくれるんだろう?」と話していました。私は、困っている親子を応援したいという思いで支えてくださる企業の皆様がいることを伝え、「ありがとうって伝えたいね」と言っていました。その言葉を聞き、私も思わず涙があふれました。皆様のご支援のおかげで、お腹だけでなく心まで満たされ、親子で温かい気持ちになりました。
- ・ いつもより少し長い夏休み、やはりご飯どうしようという悩みが一番にでます。日に日にいろんな物が高くなり買えるものの選択肢も狭くなっています。そんな中でこの食料支援はかなり救いになります。(略)下の子ども支援というのがどういうことか理解しているので、嬉しいね助かるねと感謝の気持ちを持っています。

26

▼食料支援を受け取られたご家庭からの声(音声)

https://www.youtube.com/watch?v=x_iuCeiml4&t=740s



▼食料支援を実施したファミリーサポート



Copyright©2026 NPO Kidsdoor.

キッズドア・ファミリーサポートとは

キッズドア・ファミリーサポートは、2020年のコロナ禍によってダイレクトに打撃を受けてしまった困窮子育て家庭を緊急支援する形で発足した自主事業です。

0歳から大学生までのお子さんと同居する全国すべての子育て家庭を対象にデータベースへ登録していただき、生活の向上や安定をサポートする物資支援・情報支援・体験活動・就労支援の4つの支援を提供しています。

2025年度は、5,105世帯（1世帯＝平均3.1名）に登録していただき、様々な支援を届けることができました。



※ 2026年度は、9月4日時点ですでに4,100世帯を超えるご家庭よりご登録をいただいております。
(ご家庭状況確認のため年度更新)

3. 支援実施の背景(調査結果)

キッズドアでは 2026 年 6 月にご家庭の状況を把握するため、以下の通りに調査を行いました。



社会を良くするたしかな一歩



赤い羽根
福祉基金

2026 夏 子育て家庭アンケートレポート(概要)

1 調査概要

目的：物価高騰の生活や家計への影響について実態を把握することで、困窮子育て家庭の抱える課題を明らかにし、必要な支援の検討に向けた示唆を得ること。

対象：キッズドア・ファミリーサポート登録世帯

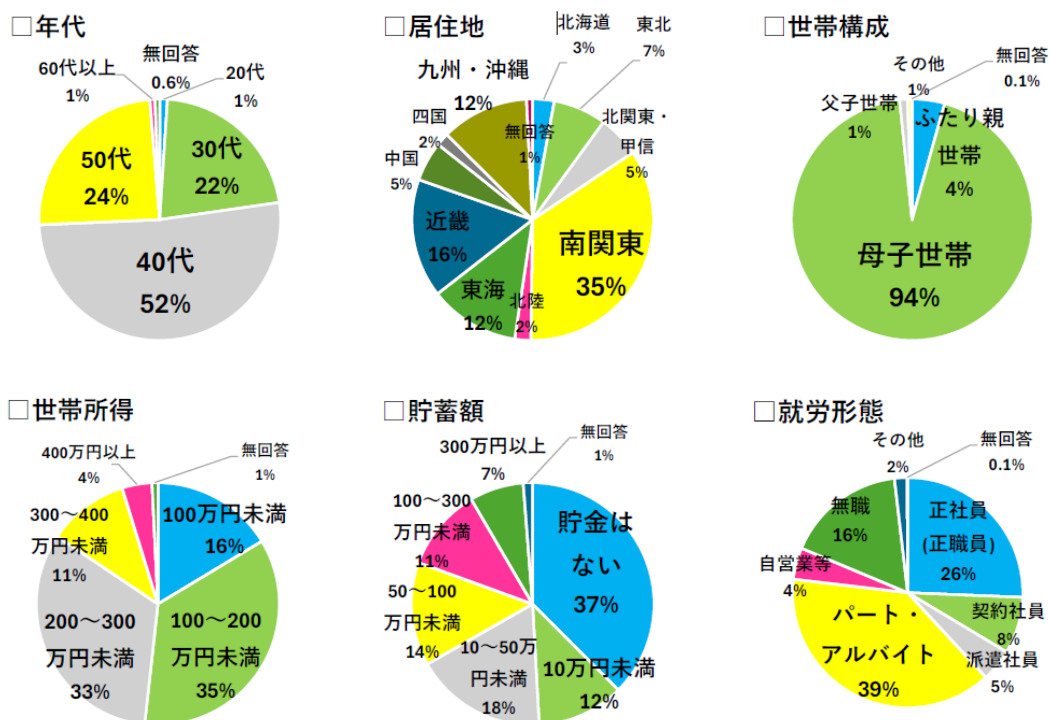
調査期間：2026 年 6 月 1 日～2026 年 6 月 8 日

回答数：1,449 件（回答率：42%）

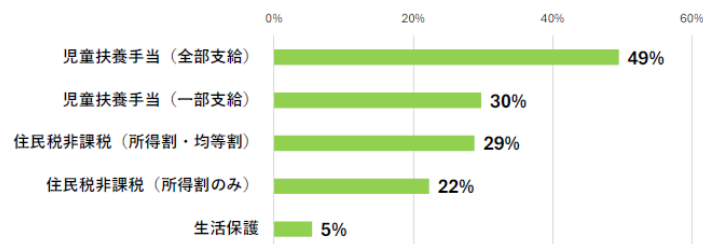
●キッズドア・ファミリーサポートとは？ <https://kidsdoor-family-support.jp/>

「キッズドア・ファミリーサポート」は 2020 年にコロナ禍に対する緊急支援という形で発足しました。現在では、困窮子育て家庭の保護者を対象に、困窮から抜け出すための物資・情報・就労支援を行っています。

回答者のプロフィール (n=1,449)



受給している公的手当（複数回答）



※プロフィールのうち、「就労形態」については、本調査ではなくファミリーサポート登録時に聴取。本調査の回答者のファミリーサポート登録のタイミングは 2026 年 4 月 1 日～6 月 1 日の間。

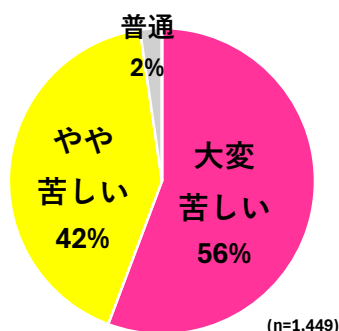
©2026 認定 NPO 法人キッズドア

2 調査結果概要

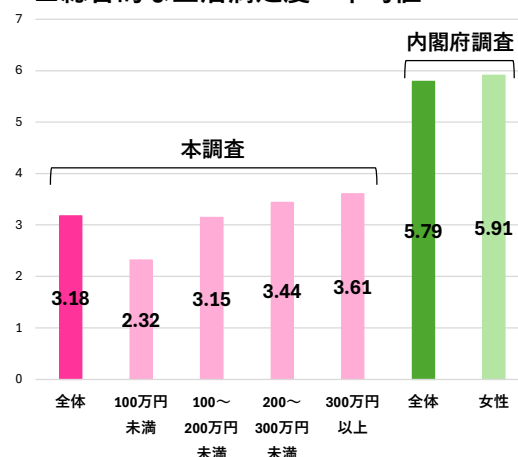
2.1 物価高騰の家計や食事への影響

- 全体の 98%が暮らしの経済的な苦しさを感じている。また、総合的な生活満足度*の平均は 3.18 と内閣府調査の平均 5.79 を大きく下回る。（*「全く満足していない」（0 点）～「非常に満足している」（10 点）で評価）。
- 経済的な理由で子どもが健康に必要な量の食事をとれない日は、「ある（ときどき）」・「ある（ほぼ毎日）」で約 8 割。所得が低いほど子どもの食事の量・質の低下は深刻、「所得 100 万円未満」では、子どもが健康に必要な量の食事をとれない日が「ある（ほぼ毎日）」（31%）、子どもが肉や魚を食べる頻度（保育園・幼稚園や学校の給食を除く）として「食べたいが、あまり食べていない」（31%）。
- 食事を十分に用意できないことによる子どもへの影響では、「イライラしている、落ち着きがない」や「病気にかかりやすい（風邪、貧血、体調不良など）」が上位。「所得 100 万円未満」では、「同年齢の子どもに比べてやせている」・「同年齢の子どもに比べて身長が低い」も 3 割を超える。
- 必要な量の食事をとれない頻度が高いほど、睡眠時間の不足や眠っても休養できていないなど、子どもの睡眠の心配事も多い。経済的な困窮の中、食事と睡眠の両方が不足してしまっている子どもの健康面が強く懸念される。
- 物価高騰の影響で抑えている子どものための費用では、「衣服や靴の費用」が約 9 割、「将来のための貯金」・「遊びや体験活動の費用」も約 8 割が選択。回答割合が最も低い「学校、部活、塾や習い事の費用」も 6 割に達し、「特に抑えている費用はない」は 1%に満たなかった。

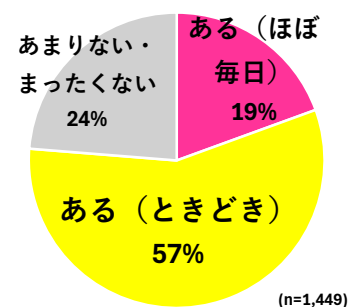
□暮らしの経済的な状況



□総合的な生活満足度・平均値

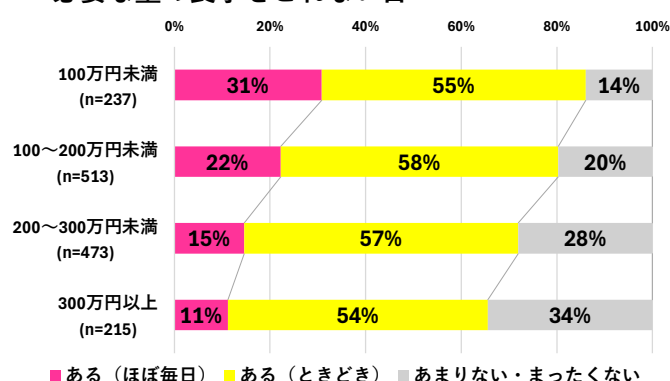


□経済的な理由で子どもが健康に必要な量の食事をとれない日

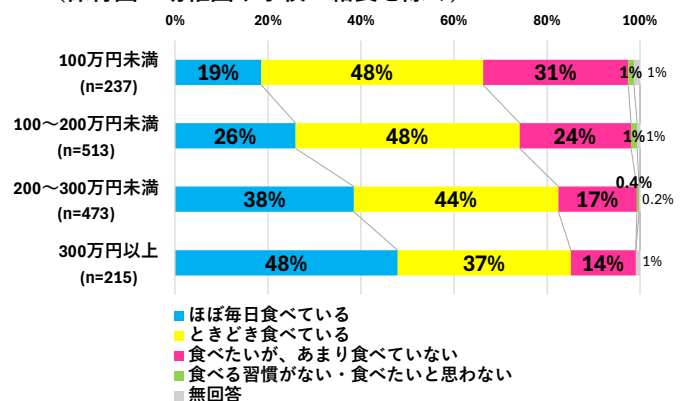


※出典：内閣府 政策統括官（経済社会システム担当）「満足度・生活の質に関する調査報告書 2025～我が国の Well-being の動向～」(令和 7 年 9 月) (<https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/manzoku/report09.pdf>)

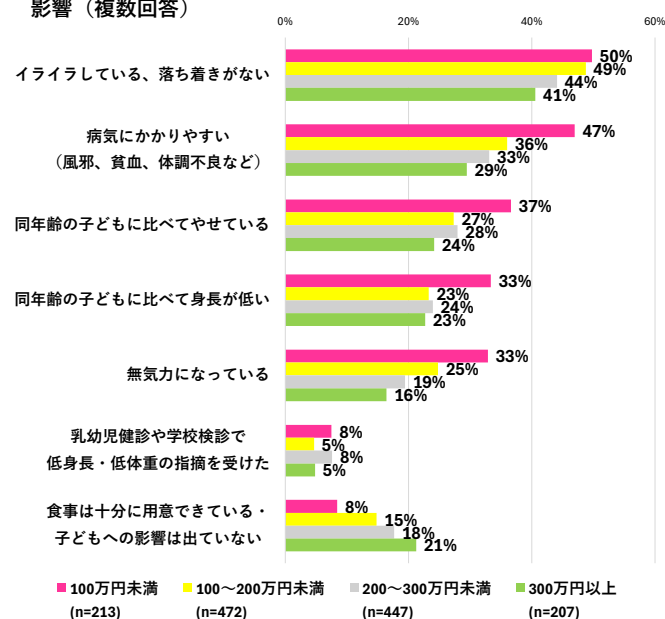
□【世帯所得別】経済的な理由で子どもが健康に必要な量の食事をとれない日



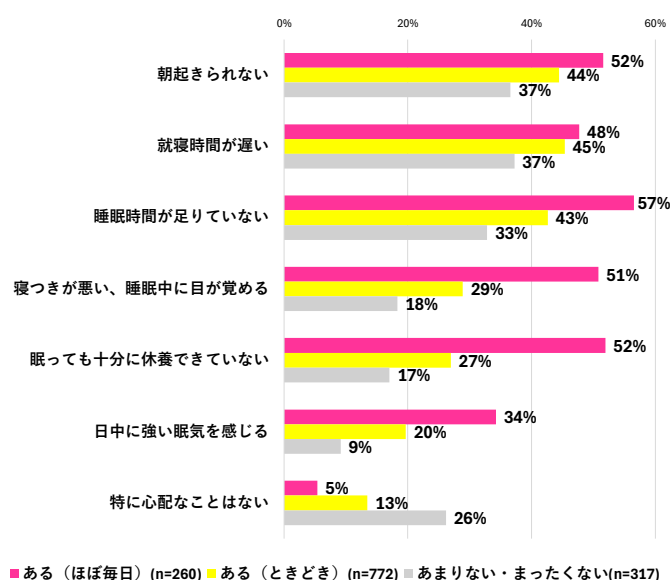
□【世帯所得別】子どもが肉や魚を食べる頻度（保育園・幼稚園や学校の給食を除く）



□【世帯所得別】食事が十分に用意できないことによる子どもへの影響（複数回答）

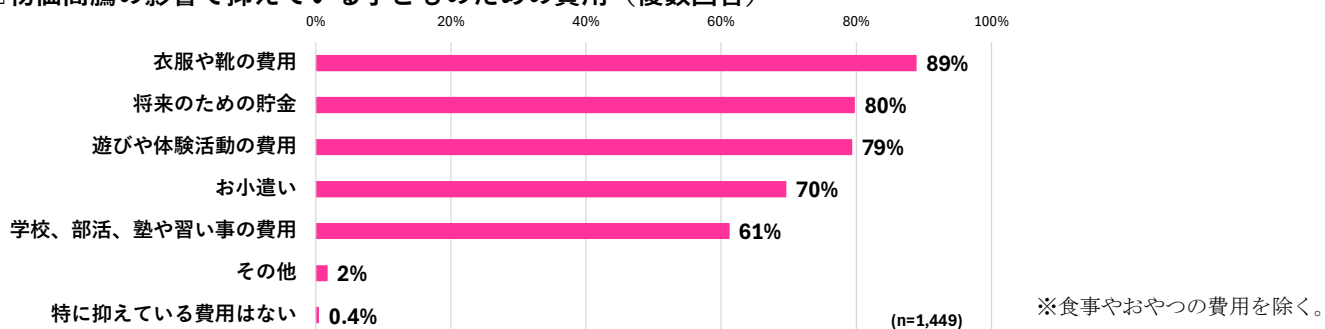


□【子どもが健康に必要な量の食事をとれない頻度別】
子どもの睡眠についての心配事（複数回答）



※左・右ともに、子どもの学校種として「就学前」・「小学校」・「中学校」・「高等学校」のうち少なくとも1つを選択した方が対象。

□物価高騰の影響で抑えている子どものための費用（複数回答）



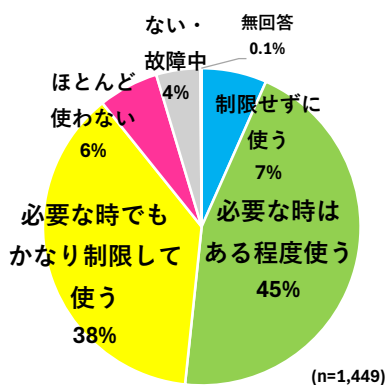
物価高騰と生活の困窮に関する困りごと（自由記述）

- 物価高により、栄養バランスのとれた食事ができていない。子供に食べさせるために親は食事回数を減らしたりしています。子供達のおかずも1日1品しか作ってあげられません。
- 一人分の肉や魚を買ってあげる事が出来ず、いつも2人前ほどのおかずを5人で分けている。
- 物価高騰、水道光熱費がどうにかならないと生活は苦しいままだと思います。どんなに苦しくても子供の食費だけはなんとかして食べさせてます。成長期の子供に食べさせてあげないということはしたくないので。この生活がいつまで続くかと思うと不安しかありません。
- ひとり親で私の収入だけでは毎月支出が多く赤字続きの家計で毎月貯金を取り崩して子どものためにやりくりしていました。貯金も底をつきさらに物価高騰で満足に食べさせてあげられず、家計が苦しいため学用品が十分に揃えてあげられません。塾などの学習環境を提供することも出来ませんでした。
- 毎月、給料より費用の方が多く、借金が毎月多くなっている。借金を返すために、借金を繰り返して、借金して食材を買っている。自己破産の心配を毎日しており、普通に過ごす日がほしい。
- 物価高で何でも高くなりとにかくお金が足りない。いつもお金がないのもう疲れてしまった。死ぬまで生活するのが億劫と感じる。前は楽しいと感じた事も楽しくない。子供たちのためだけに生きている。しんどい。
- 貧乏で子供が闇バイトに手を出さないかととてもとても心配です。

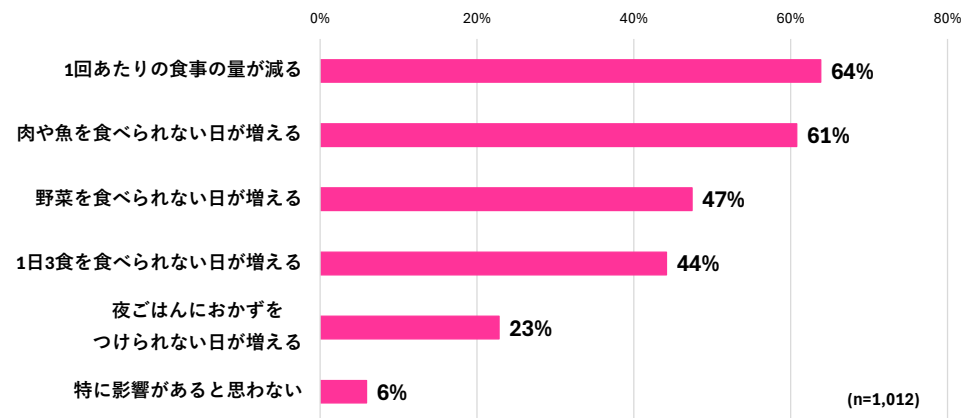
2.2 子どもの夏休み

- 今夏のエアコンについて、半数近くは、かなり制限するか使わない予定と回答（「必要な時でもかなり制限して使う」・「ほとんど使わない」・「ない・故障中」の合計）、「制限せずに使う」との回答は1割に満たない。
- 小中学生のいる家庭では、給食がなくなること、夏休みの子どもの平日の食事にどのような影響が出ると思うかとの質問に、「1回あたりの食事の量が減る」・「肉や魚を食べられない日が増える」を6割超、「1日3食を食べられない日が増える」も4割超が選択。
- 4割超の保護者が夏休みについて考えて気持ちがひどく落ち込むことが「いつもある・しばしばある」と回答。落ち込んだり困ったりした時の相談先で最も多かったのは「相談しない・相談する相手はいない」(50%)。
- 相談先の有無別にファミリーサポート登録時のK6*の回答結果を比較した結果、「相談しない・相談する相手はいない」では、K6の「10点以上」が72%と、相談相手がいるグループよりも深刻な状況（*次頁参照）。
- 夏休みに希望する支援のトップは、「夏休みの食料支援（食料品クーポン、パントリー、食料品の宅配など）」(94%)。上位は食料や夏休みの体験活動に関する項目であり、「特に希望する支援はない」は1%未満。

□今夏のエアコン使用予定

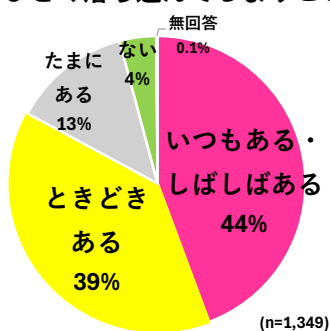


□給食がなくなることによる子どもの平日の食事への影響（複数回答）

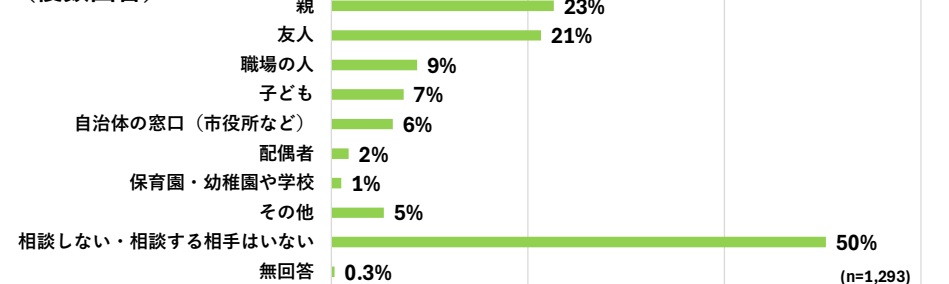


※「小学校」または「中学校」の子どもがいる方が対象。

□夏休みについて考えて気持ちがひどく落ち込んでしまうこと

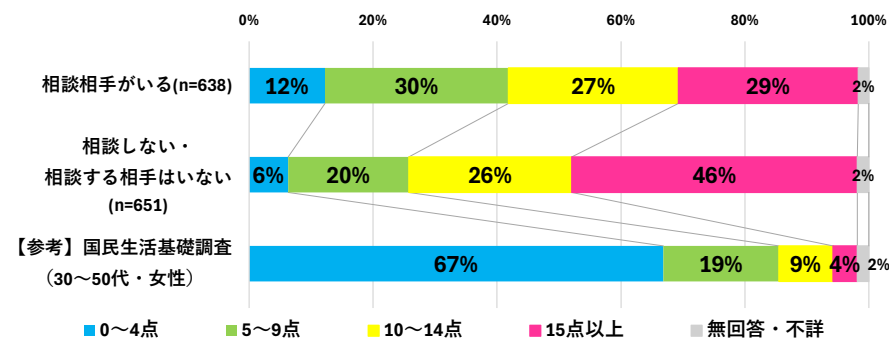


□夏休みについて考えて、落ち込んだり困ったりした時の相談先（複数回答）



※左：子どもの学校種として「就学前」・「小学校」・「中学校」・「高等学校」のうち少なくとも1つを選択した方が対象。右：子どもの学校種として「就学前」・「小学校」・「中学校」・「高等学校」のうち少なくとも1つを選択し、かつ、「夏休みについて考えて気持ちがひどく落ち込んでしまうこと」で「いつもある・しばしばある」・「ときどきある」・「たまにある」のいずれかを選択した方が対象。

□【相談先の有無別】ファミリーサポート登録時のK6の点数

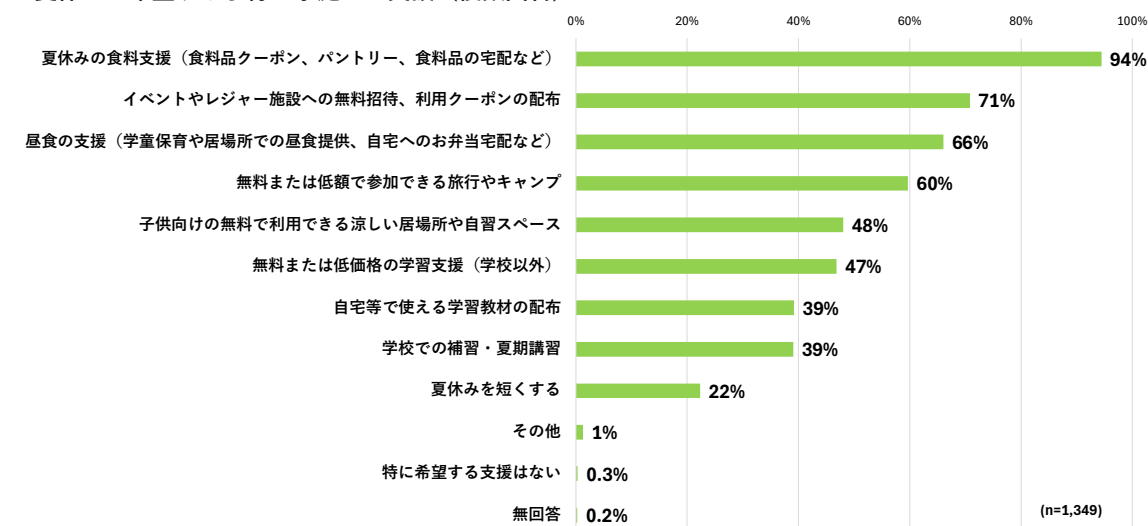


※本調査の回答者のキッズドア・ファミリーサポート登録のタイミングは2026年4月1日～6月1日。【参考】国民生活基礎調査(30～50代・女性)は、厚生労働省「2022(令和4)年国民生活基礎調査」の結果をもとに作成。

「K6」…うつ病・不安障害などの精神疾患のスクリーニングのために開発された、**心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標**。「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そろそろ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか」「何をしても骨折りだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」の6項目を5段階(「まったくない」(0点)～「いつも」(4点))で点数化。**合計点が高いほど精神的な問題がより重い可能性があるとされる(10点以上で気分・不安障害に相当など)**。

※出典：厚生労働省「国民生活基礎調査」用語の解説をもとに作成 (https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21-yougo_r4.pdf)。

□夏休みに希望する子育て家庭への支援(複数回答)



※子どもの学校種として「就学前」・「小学校」・「中学校」・「高等学校」のうち少なくとも1つを選択した方が対象。

(n=1,349)

夏休みに関する困りごと(自由記述)

- 修学旅行、卒業入学で、生活が今本当に苦しく困窮している。そして夏休みがくる。子供への愛情で頑張ってきたけれど、今全てに疲れている。給付金がなければ、もう生活を補えるものもなく生きられる気がしない。
- 夏休みの食事に光熱費。どうしたらいいのか頭が痛いです。図書館に行くにも、暑い中徒歩では心配です。食事も給食がなく、2食になると思います。
- また恐怖の夏休みがきます。小中の子供たちは学校のある時は給食で栄養がとれますが夏休みになると途端に栄養不足になります。周りの子供たちはあちこち旅行に行ったり夏休みを楽しんでいるのに経済的に余裕のないうちではそういった経験もできません。
- 学校の長期休暇中は、仕事で不在のため子どもの世話をする人がおらず、子どもは昼食を食べないまま一日中家で過ごすことがあります。
- 夏休みは光熱費払うほうにお金がかかり満足に食事等用意できずいつも罪悪感もって仕事いくので、ほんとに地獄の日々がはじまったと思ってしまいます。
- エアコンもなく扇風機も1台しかなく、真夏がすごせるか不安でどう乗り越えようか困っている。

2.3 現在の困りごとや希望する支援

- 経済的な困窮が深刻化する中で、保護者のこころの状態の悪化が懸念される回答も多く、生きることが辛い、気軽に相談できるところがほしいといった声があった。
- 子どもの学習への支援や高校生・大学生に対する支援を求める回答、児童扶養手当等の所得制限によって収入が上がると各種支援の対象から外れてしまう、所得制限を見直してほしいといった回答、支援の地域格差の改善、支援に関する情報提供を求める回答なども寄せられた。

現在困っていることや支援がほしいこと（自由記述）

- 子供の病気や私の体調不良でなかなか就職活動がうまくいかず、生きてる事がいよいよ辛くなってきました。不安とストレスでおかしくなっています。
- とにかく年々厳しさを増す生活にストレスを感じます。自分の力だけではどうにもならない現状に不安しかありません。これから先どうなるのか、どうするのか、考えても考えても落ち込むばかりでため息しかでません。何が最善なのかもわからず、将来どうになってしまうのかと想像するのも怖いです。
- 相談できる所を作してほしいです。子どものことや自身のこと何でも相談できる場所。
- 親も他界しており、また親戚も近くにいないので、孤独に近いです。なので、気軽に相談できるところが欲しいです。
- 無料もしくは低価格でオンラインの塾があれば嬉しいです。中学に上がって勉強についていけておらず心配しています。
- 子供が中学3年なので受験のことも心配です。私立はとても無理です。学費無料などと言っても結局、制服代や旅行積立などすごく高くてビックリです。なんとか公立に入ってもらわないとですが、どうなることか本当に心配です。
- 公立高校でもフルタイムで働いている収入があると、修学旅行代や学年費などは実費で必要になるので、高校からかかる教育費が増えるが、給食も無くなるし、支援もどんどん減っていくので大学用にとっておきたい貯金がどんどん減ってしまう。高校生にもっと支援が欲しい。
- 高3の息子の受験費用、毎月塾費用、大学費用これからも経済的にのりきれぬ不安でしかありません。毎月赤字です。でも出来る限り息子の夢は諦めてほしくないという気持ちがあります。経済格差で子どもの未来が夢が不平等にならない世の中であってほしいです。
- 現在の制度の中で、最もしんどいと感じているのは、一定の収入があることで支援の対象から外れてしまう世帯だと思います。年収が少し上がると手当が減額・打ち切りとなり、その一方で社会保険料などの負担は大きく、結果的に手取りがほとんど増えず、生活は厳しいままです。現状に合った支援がもう少し広がることを強く願っています。
- 所得が230万を超えたため児童扶養手当がなくなります。そうすると医療助成、就学援助もなくなります。児童扶養手当が所得制限こえて受給できない家庭へ、医療助成と就学援助は受給できるようにしていただけないかと、いつも思っています。
- 私の住む市は、ひとり親に対する制度があまり充実しておりません。地域格差があると思うので、全国統一で制度を充実させてほしいです。
- どんな支援が公的機関や民間であるのか情報がもっと欲しいです。

この事業は中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」の助成を受け実施しています。

4. おわりに ～今後に向けて～

以上、今回のクラウドファンディングにて多くの皆様よりご支援をいただき、キッズドアとしてこの夏休みに実施した宅配での食料支援について、ご報告させていただきました。

食料品をはじめとする物価高騰が続く経済状況の中、困窮子育て家庭の状況は現在も苦しいままです。キッズドアでは今回実施した「ファミリーサポート」だけでなく、「無料学習会・居場所拠点」の運営を中心に、継続的に必要な支援を届け続けてまいります。当然ながらこうした事業も、ご支援をいただく皆様からのお力添えがあって初めて続けていくことができるものです。

子どもから、
未来をひらこう。

Toward a society
where all children can have
hopes and dreams



これからの支援を届け続けていくこと、また今回の食料支援のように、いまこのタイミングで必要となる緊急的な支援を届けていくためにも、引き続き子どもたちや保護者の方々、そしてそれを支えるキッズドアの事業を応援していただければ、とても嬉しいです。

末筆となりましたが、改めまして、この度のご支援に深く感謝を申し上げます。

引き続きのご支援とご協力を、何卒よろしくお願いいたします。

認定 NPO 法人キッズドア

〒104-0033 東京都中央区新川 2-16-10

プライムアーバン新川 2 階

<https://kidsdoor.net/>